

なかまフレンドベースボールリーグ2024 試合規約

第1-2 条 (開催期間およびイニング・延長戦・試合進行)

- ・予選試合 3月～9月末日までを期限とする (自主対戦方式) ★9月末にて予選日程終了
- ★10月末までに2位と3位が対戦 ⇒ 勝者が決勝戦へ
- ※8月末日までに消化した場合は勝点1点加算 9月以降の未消化は勝点-1とする

- ・7回制の最大120分 雨天の場合は4イニングで試合成立
- ・7回終了時点で同点の場合は同点適用
- ・予選リーグは勝ち点制 勝・・3点 負・・0点 引き分け・・1点 (不戦勝3点、不戦敗-6点)
- ・不戦試合の場合は、3対0のスコアとする
- ・試合開始時刻を10分経過して9人が揃わない場合、試合放棄として相手チームの不戦勝とする
- ・試合開始時刻を過ぎて (10分まで) 試合を進行した場合は、3対0からのスタートとする
- ・3回以降10点、5回以降7点差がついた場合はコールド制を採用とする

予選終了後は予選1位は無条件で決勝戦進出、2位3位の勝者が決勝戦進出

令和6年11月24日(日) 場所: 中間仰木彬記念球場 予備日: 12月1日(日)

- ・7回制 (最大120分) 同点の場合、7回終了以降1死満塁スタート最大9回、以降決着つかない場合はジャンケンに移る(最終回で出場していた9人で行う。10人攻撃の場合は9番まで)
- ・優勝決定戦の球場及び審判は事務局で用意 (事務局負担)

第3条 (攻撃/DH制度)

- ・予選での攻撃は基本何人でも許可する。ただし、双方の協議により決する
- ・DHを許可する
- ※予選時はDHから守備、守備からDHと変更は可能。優勝決定戦に関しては下記の通りとする
- 9人又は10人攻撃のDH制を採用する
- DH制の採用は、毎試合ごとにチームの自由選択とする
- DHは試合前に選ばれ、相手チームと審判に提出するメンバー表に記載する
- DHは試合途中で止めることはできない
- DHへの代打は可能だが、DHから守備、守備からDHへの変更はできない。また、一度交代した選手は再度出場することはできない

第4条 (審判制度)

- ・基本、審判は派遣 (予選は各チームで手配及び負担)
- ・やむを得ず派遣ができない場合は攻撃側審判とする
- ・審判への野次、暴言は厳禁とする。その場合は失格処分とする

第5条 (助っ人)

- ・ 投手-捕手の助っ人は禁止、他助っ人に関して補強目的でなくあくまで人数不足により棄権の恐れがある場合のみ助っ人を許可する。投手または捕手にやむを得ず助っ人使用は、相手チーム+3点加点
バッテリーの場合は、相手チーム+6点加点
- ・ なお最低5人は必ず自チーム登録選手である事、それ以下で助っ人が大半を占める場合刻当試合の試合消化は認めるが、試合結果問わず相手の勝利となる (努力消化を認め不戦敗はなし)

第6条 (試合管理・試合進行)

- ・ 球場確保チーム側がホームチームとし、先攻後攻を決めることが出来る
- ・ ホームチームが試合運びを先導する。結果報告を事務局に試合翌日までにメールにて必ず報告
- ・ 試合開始してからの追加・減員は不可とする
- ・ 減員とした場合は没収試合となり 3-0 とする (減員後9人以上いても没収試合)
- ・ ユニフォーム忘れやユニフォーム違い (セカンドユニフォーム等のチームのユニフォームであれば可) は正規登録メンバーとしても助っ人扱いとする
※新メンバーでユニフォームが間に合っていない場合も同様

第7条 (表彰)

- ・ 表彰はリーグ優勝、準優勝とする